

# 電丘時報

長野下伊那郡電丘村番地  
 編輯者 後藤兼義  
 印刷所 龍共社印刷所  
 代表者 中島今朝雄  
 長野縣下伊那郡電丘村番地  
 龍共社印刷所

## 論壇

### 躍進

#### 十一年の展望

幾多不可解の問題を残して  
 慌しき内に昭和十年も過ぎて  
 活躍聖代十一年の暮は切つて  
 落された。

然らば不可解の問題は何ぞ  
 や？之は一口には云ひ現す事  
 は出来ないが、国内的にも國  
 際的にも所謂三五、六年の非  
 常時に該當する問題も枚舉に  
 いまがない。

滿洲國問題も大体に於て結論  
 に達しつゝ、一面には安心は  
 許されない事は知れた事で、  
 之が裏面の赤露の魔手もそれ  
 ならず、北支方面へ展開し東  
 西の風雲急なりしも、未明日  
 の様に之に入智恵する米大國  
 も亦我々をして、永勃の安泰  
 を許されざるを裏書するに外  
 ならない。加へて軍縮會議は  
 愈々非常の空気を胎んで来た  
 が、今年一月十五日愈々正式  
 脱退をなし、永野全權の風ほ  
 うや壯。内にある者の戦はん  
 かなの覺悟や如何に。

振返つて内を惟ふに、近時景  
 氣再現の聲も盛んなりしも、  
 國民の大多數をしむる農村に  
 於ては、こゝ數年來の打撃に  
 恢復の色容易に見えず、糸價  
 の高騰も話程でもなく、配當  
 暮しの百姓の深刻さも豫想以  
 上の哀れさに一變し、加ふる  
 に昨年の農作物の不作、物  
 價高騰に三十年來の寒さに襲  
 はれて、SOSの危急信號は  
 近所彼所たるを見る時實に非

當時ははんや。

思想方面に於ては全盛をきわ

めた頃も一ト昔の今は、青年  
 層にもあらゆる階級にも、そ  
 の色彩も持たず、そうかき云  
 つて生活が安定されたのかこ  
 云へば左にあらず、研究する  
 力が、持上る力が不足して來  
 て恐らく我が村に思想的變革  
 はあり得ないであらう。

衆議員の會散と同時に貴族院  
 の停會、愈々總選舉で鳴物入  
 の肅正々々が絶叫され之こそ  
 我が國本來の道德的選舉法で  
 我々正義を愛し、人道を尊ぶ  
 者の絶賛するものであつて、  
 この第二回を美しく實行あら  
 ん様丘の皆様にお願い致すの  
 であります。そして純情を多  
 分に持ち、國家が政治に眞

## 年頭の御挨拶

### 電丘青年學校長

謹みて新年の御挨拶を申し上  
 げます。

昭和十一年の初頭に當り昨年  
 中當村に於る教育進展上特記  
 すべきものを回顧すれば、一  
 は梅の佳節に我が電丘青年訓  
 練所が成績優良の故を以つて  
 その筋よりの表彰であり、一  
 は九間四尺に二十二間の講堂  
 兼雨天体操場の新築計畫であ  
 り、又一は九月一日勤勞大衆  
 の教養機關としての電丘青年  
 學校の創設であります。

右の内其の筋よりの表彰は先  
 輩各位御盡すの結晶であり  
 多額な費用を投じての建造物  
 は、村民が擧つての教育尊重

任を盡し 各位の御期待に添  
 ひ得るや否や自ら省みて衷心  
 忸怩たるものがあります。  
 然し乍らたゞへ微力たりとも  
 其の職を辱ふする限り、飽く  
 まで魯鈍に鞭打つて誠心誠意  
 考カクの上努力致す覚悟であ

## 昭和十一年 初刊に際して

### 中島今朝雄

非常時に暮れて非常時に明け  
 た昭和十一年に經濟問題外  
 に海軍々縮問題その他、種々  
 息づまる様な記事を目々の  
 新聞によつて見ます。

今や世は非常な生活難の嵐に  
 包まれて居る云つても過信  
 ではないと思ひます。

この伊那の地も糸價の値が幾  
 分上向いて来たことは云へ、數  
 年來の安値から我々の生活は  
 極度に窮迫して來ました。  
 そして我々が生活して行く上  
 に直接必要でない所の綜合青  
 年團に對して兎角論議される  
 様になつて來ました。

今更私が申すまでもなく、我  
 が青年會は總て次代の村を、  
 國を背負つて立つ電丘人とし  
 て、否世界に雄飛する大和民

## 御挨拶

### 小島みゆき

お姉様方の力強き歩みの結晶  
 である深く感謝する者  
 であります。

この誇り可き我が女子青年會  
 々員の皆様も、私共のシンボ  
 ルとする會旗の下に、新たに  
 一致團結して益々會のため、  
 又自分自身の爲め眞實なる誠  
 意を持つて大いに活躍、修養  
 されん事をお祈り申し上げます

この度不思議にも當女子青年  
 會々長の、身に余る重席に浴  
 しまして、元より淺學若輩の

私故再三辭退致しましたが、  
 熱心なる皆様の御推挙に依り  
 まして御引受け致す事になり  
 ました。何分末熟な者でござ  
 りまして、皆様の御期待に添  
 ふ様な事が出来ませうか如何か  
 ご非常に心痛致して居る次第  
 でございますが、さうぞ會員  
 皆様の熱有る御支援、理解  
 ある御家庭の皆様の御鞭撻に

に依りまして、この大任を果  
 す事が出来ませうれば幸ぞ存  
 じます。

## 電丘時報

### 躍進

### 加壽雄

一九三六年  
 新たな年と共に、新たな年  
 希望を抱きて迎へたこの年、  
 幾多なる難關を打撃し得て迎  
 へたこの年、今年こそは何事  
 も有意義な躍進を、更生を盟  
 つて社會に觀へなくてはなら  
 ない。

電丘時報一淺學な青年の拙い  
 筆不体裁な編輯、無價値  
 な記事の配列によるものなが  
 らも、一年一歩進歩を重ねて昭  
 和十一年第一號を發行出來得  
 る事は、實以つて喜びに堪へ  
 ない。然し悲しいかな昨年度  
 に於ける一般の見解、情態は  
 唯々見る者のもたらす溜息、  
 編輯者の隠せない赤面に終  
 刊を告げた。

村に於ける唯一情報機關で有  
 る月 時報の定日發行が、何  
 時来るのかさへも知れない無  
 責任極まる發行のルーズ、こ  
 れ故に昨日迄期待を持って迎  
 へてゐて呉れた村民も、自然  
 哀惜をつかし唯一の援者とし  
 て活躍されてゐた先輩始め、  
 諸村民からの投稿は影を潜め  
 一方編輯者自ら贊助の聲の絶  
 無に自然的な現象として原稿  
 蒐集に奔走を怠る。浮かばれ  
 なかつたのは昨年度時報その  
 ものであつた。

星霜七年、有保証して月刊  
 何は、更生は、唯々村に於ける  
 の熱心力に依るのみ、旅行  
 に、視察に、産業研究に、家  
 庭實驗に、論說に、文藝の發  
 表に或は世相一般を指導的意  
 に入らるべき反響欄に、土から  
 生れた日常生活から生れた貴  
 い記事に依つてのみ更生さる  
 のみ。

七ヶ年の星霜を迎へたこの時  
 報この年、編輯部確立して  
 亦五ヶ年更らに熱心力に加  
 へ、新しき希望躍進の意氣  
 を筆に、歴史のみでなく實  
 況と共に近村に比なき時事新聞  
 の存在を確立すべく、一般村  
 民各位に愛村の念を喚起する  
 と共に時勢躍進へ新たな希望  
 を持つて更生、一歩強く踏  
 みしめて進まん事を編輯一員  
 として懇願する次第である。  
 (愚感多謝)

先ず自分だ。これをシツ  
 カリ作る事だ。そうすれば  
 總て解決つくらしい。

肅正選舉の鳴物入りもさう  
 やらで解決するらしい。そ  
 れはさうさ合同問題はさうし  
 ました。近村ちやあ相當にさ  
 の方かへ縣命ださうですが。

思ひ出したが昨年未の軍人  
 送迎會にや塞心しちやう。こ  
 うした事にやあ極力〇〇欲し  
 いものです。國の爲に行く  
 者の爲に、重き務めを盡して  
 來た者のために。

電丘時報も六週年かそれにし  
 て元ナマ二百五十圓は、利  
 息が泣面してゐるね。御機嫌  
 を取るのは皆さんの良き原稿  
 をドン／＼出して戴く事さ。

警察の課長さんも、部長さ  
 んも何故〇〇にして來ないの  
 ださ真つ先に聞かれ一寸苦笑  
 年内の内にキフでも積つて  
 明年度はこんなランチはお  
 目に掛けん積りだ。

何は、更生は、唯々村に於ける  
 の熱心力に依るのみ、旅行  
 に、視察に、産業研究に、家  
 庭實驗に、論說に、文藝の發  
 表に或は世相一般を指導的意  
 に入らるべき反響欄に、土から  
 生れた日常生活から生れた貴  
 い記事に依つてのみ更生さる  
 のみ。

### 経営改善計画に就て

竜丘村農會

農業経営の目的は農家の維持安定に資する可き生活資料を出来るだけ多く稼ぎ出す事にある。

稲や麦を作り野菜を栽培し或は養蠶、養蚕を爲すのも經營の目的を達する爲の努力に外ならない。農業經營の改善とは、畢竟斯る經營の目的を合理的に實現するやう農業のやりかたを改善する事にある。

而し乍ら農業經營を詳細に觀察すれば、其の内容は只に氣候風土や市場の遠近、耕地面積の廣狭、自家勞力の多少及質等によつてそれ／＼相違してゐる。従つて農業經營の改善の方法も之等の外部的條件や、内部的事情等によつて

### 眞の經濟更生は

### 先ず正しき記帳から

キロケラム

農村經濟更生云ひます直ちに破天荒の更生計劃が樹立され一朝にして村が生れ變つたかの如く思ふ人もあるでせうが、よし大偉人が出現したとしてもそんな事は到底出来得る筈がないと思ひます。「農村更生は先ず農家簿記の記帳から」と申したいのであります。

今日の農家に記帳させるといふ事は非常に困難な事には違ひないが、農村更生運動を今日の時勢に於て成功させるといふ事は、村民各位に簿記を記帳して貰ふ事よりは更に「難事業である覺悟を要するのであります。記帳に依つて自家の經營の内容を正確に

一、財産の増減 年度の始めと終りで財産は増したか減じたか。

二、家計費と所得 所得は家計費を償つたかどうか。餘剰が出来たか不足したか。

三、家計費の内容 家計費の内容はどうか。各支出の割合はどうか。家計に無駄はないか。自給物はどの程度に利用されたか。

四、土地の利用 土地の利用程度はどうか。輪作や間作の間に無理や又は無駄はないか。土地の生産條件は完全に活用されたか。

五、勞力の利用 家族の勞力は毎月完全に利用されたか。家族の能力に應じた事業の分担はどうか。雇傭勞働はどの程度で済んだか。勞力利用に無駄はなかつたか。

めてゐる事は申す迄もない。農業の改善は一面家族の有する勞働能力を最大に發揮する事に在る。家族農業經營は家族の勤勞の上に組み立てられねばならぬ。勤勞の精神の無き處に家族農業の改善はない。精進家三調は人々は何も彼も勤勞主義の實行者である。而し乍ら勤勞の爲には何らく仕事が必要である様に、勤勞主義を實現せんが爲には、それに適應した農業經營組織を持たねばならぬ。それは家族の量と質に應じた經營組織を作る事だ。如何に一家の主人が働いてもその妻が弟妹が或は子供が、働らく能力を持つてゐるなら、家族農業經營は駄目である。家族農業經營は、主として、主人も妻も弟妹も子供も、一家の者が皆その勞働能力に應じて打拵つて一諸に愉快に働らくのでなければ

資料とする爲にも先ず農家は擧つて記帳生活を必要とする。生れて來るのであります。毎朝洗面する如く夜寝る前に必ず記帳する習慣を忘れないで下さい。自然に慣れて興味も出來て來て來ます。先づ労働時間を主人より順次に仕事順に数字にて記入する例へば田打を主人と長男で八時間すれば八と記入し、妻は縫物を十時間と炊事を二時間すれば、違つた通りへ兼業一〇に家事二と記入する。尙より細かく記入するならば非労働時間労働時間として非は公務、社會奉仕、修養研究、地方扶掖、冠婚葬祭、病氣休養、訪問接客といった様な部類に分け、之等は非労働に該當し、それを差引き尙食事に三十分以上の休養は、〇、五といふ風に記入しそれ等の残りが眞の労働時間である。

以上の様な種々な観点から充分其のけい營の實態を探討して之に對する方策を講ずるのであるが、之が實行に當つては餘り一時に改め過ぎる事却つてその經營の内容に無理が出来るから、確然たる目標を定め之に順次近付かしの經營改善はけい營更生計劃である。之を三年或は五年等に計劃すれば即ち經營改善五年或は三年計劃であるのである。而してけい營改善の實行に當

### 竜丘青年會々計

昭和十一年度予算書	
収入ノ部	
前年度繰越金	金五拾九圓貳拾六錢
村費補助金	百貳拾圓
共同勞作收得金	八拾圓
經常費	九拾六圓
雜收入	參圓
計	參百五拾八圓貳拾六錢
支出ノ部	
庶務部費	七拾圓
教育部費	七拾圓
体育部費	五拾五圓
圖書部費	六拾五圓
編纂部費	七拾五圓
基本金繰入	拾圓
予備費	拾參圓貳拾六錢
計	參百五拾八圓貳拾六錢

支出ノ部

経営改善の實行に當り、斯る事の爲に一組合或は一村の農家が共同して樹立するものが所望である。然るに近來の様に社會のけい營的諸事情の變遷の多い時には、農家に於ては毎年組合及村等に於ても時々その計劃の實行状況や、計劃の内容を檢討して、計劃の補正に努めなければならぬのである。今回村經濟改善委員會及農會、養蠶業組合支部、産業組合等にて村内外農家に經營改善計劃を樹立して、經濟更生計劃樹立の方針及方法を略述して村内一般各位の參考に供し併せて本年度の奮勵を希望する次第である。

健康は命の根  
肉をのし取れ  
風を引きません

細井亭  
電話 二四番

賀正  
うぐひす餅賣出し  
奴餅

豆腐細工各種  
時又町役場上り口  
吉澤豆腐店

下駄なら.....

時代流行の尖端を行く  
流線形御履物  
婚禮用御履物大特賣  
時又港 岩本履物店  
主 沖田本男

御料理  
温泉旅館  
湯之瀨の湯  
長野原ホツキ

峡谷の名酒  
何卒御用命の程を  
お願ひ申し上げます  
陶器類名種豊富 大勉強致します  
時又町 伊原瀬戸物店

### 新春！春の流行品

豊富に取揃へました

ミシン加工品一切

木産店

新春の菓子御用は 美味い上品な藤屋菓子店へ



### 昭和十年度 同◇情◇週◇間◇ 實施狀況報告

一金貳拾壹圓七拾參錢也  
外古着物 七点  
集金内譯

駄科區 一〇七戸  
長野原區 四〇戸  
時又區 九一戸  
桐林區 一三八戸  
上川路區 五九戸  
外篤志者一人  
計 四三七戸

金貳拾壹圓七拾參錢  
皆様の暖き御同情の發露たる右金品は、村内一八世帯へ夫々御分ち申しましたから茲にお報告申上げます。

電 丘 村 役 場  
電丘村方面事業助成會

### 青年會雜報一束

竜丘青年會  
年始總會  
一月十九日夜  
小學校記念館に於て

一、開會の辭  
一、國歌合唱  
一、本年度係員の任命  
一、本年度予算報告並認定

### 駄科支會

年始總會  
一月一日午後一時より區公會堂に於て開催、盛會の裡に四時閉會す。

寒稽古及野球大會  
一月十日より十六日迄七日間、折からの寒氣もものかわ毎朝五時より村社前に集ひて心身をねる鈴岡健兒の意氣益々壯なり。

### 桐林支會

桐林男女青年會では小正月に竜丘小學校に於て体育競技會を剣道に卓球にボール遊戯に庭球等々にて寒折に汗だ

は汗に包まれたる若者の姿であつた。

寒稽古納會  
一月十五日午前八時より集會場前の廣場にて小林先生を審判にお願ひして七日間練習したる術を十二分に發揮して最後迄よく戦つた。終つて慰勞會を催し午前十一時閉會せり。

自治講習會  
一月廿四日より廿七日迄毎夜午後七時より十時迄、靜座御制、音楽、漢詩、珠算、農業の順により行ふ。

### 竜丘女子青年會

自治講習會  
一月十六日午後一時より竜丘小學校記念館に於て開催。

一、閉會の辭  
一、女子青年會歌  
一、本年度役員報告  
一、本年度事業報告  
一、本年度豫算報告  
一、訓 話  
一、茶菓余興  
一、閉會の辭

### 時又青年會

年始總會  
時又支會では一月四日午後一時より青年會事務所に於て年始總會並に退會式開催

一、退會式  
一、本年度退會者報告  
一、送別の辭  
一、答辭  
一、茶菓余興  
一、閉會の辭

### 桐林支會

元且午後一時より區集議所に於て年始總會を行ひ余興多數あり盛會裡に四時閉會

一月廿一日より廿七日迄八日共盛會であつた。



日常社會生活の中に痛感する矛盾や、不正や痛憤すべき記事其他。短文のこ

紙上匿名隨意載否は一任を乞ふ

### 上川路支會

年始總會  
一月一日午後一時より集會所に於て開催す。全員出席にて盛會の裡に午後四時閉會す

寒稽古  
一月六日より十四日迄午前五時より残月を浴びて公會堂前の廣場に若者の非常時期に處するが如き叫びが響き渡るこれぞ斜陽ヶ丘青年の寒稽古だ。さらさらとしたまじき行ひを成す先生様が整頓して来た様に御見受けする。

日共盛會であつた。

一月廿一日より廿七日迄八日共盛會であつた。

王寺社境内にて剣道を主體とし寒稽古を行ふ。午前六時より七時半迄早朝白雪を踏んで集合し竹刀の響は社頭を揺り返し、靜澄なる空気を破り四面にこだました。並に出席優良者には賞品を授與した。

自治講習會  
一月十一日區集議所に於て午後一時よりうごん製造練習會開催上成績にて五時半出来上り試食會をなし、續いて六時半よりレコード會をなし大變面白く九時半閉會せり。

一月十五六兩日桐林男女青年會にて体育競技會開催。

一月十六日午前七時より納會、後慰勞會を催し一時閉會す

### 長野原支會

年始總會  
一月一日午後一時より長野原女子青年會合同にて年始總會開催。

カルタ會  
一月十四日午後六時より長野原女子青年會合同にて開催その後男子寒稽古練習。

### 在隊者

部隊一覽表  
(再役者ヲ除ク)

近衛歩兵第三聯隊第一一中隊 林 長雄  
歩兵第五十聯隊第十中隊 岩 次郎  
全 原 俊道  
南滿洲錦縣橫濱部隊 中 島 照雄  
工兵第十四大隊第二中隊 大前 鎮美  
滿洲派遣歩兵第六十八聯隊 大野 敏夫  
歩兵第六十八聯隊第十二中隊 吉川 正司  
大日本軍艦多摩第七分隊 關 島 龍雄  
全 木曾第一分隊  
全 塚 平 善次  
全 神威第八分隊 塚 平 貞雄  
關東軍高射砲第二大隊第二中隊 長 沼 保治  
全騎兵第十四聯隊第一中隊 伊 東 茂一  
全 第二中隊  
下 平 体三

### 時又支會

年始總會一月四日午後一時より會員宅に於て年始總會並に新入者歡迎會を開催盛會にして午後十一時閉會。

つて同じ人間だもの或程度迄は無理もないだらうが、然し純眞な生徒間にまで喧嘩される程やつて貰ふのも一寸さうかと思ふ。

亦祝祭日に於て住宅へ國旗を立てた事のないのがあるこの事、そんな理由が知らないけれど共生徒に立てる事を教へる先生様が御自分で立てないとは？勿論全部では無いだらうが先生様及當局の御一考を望む。

### 生産組合員へ

一 農 人

組合製糸合同問題が叫ばれ初めてより此處に三年、文字通り製糸カの経済的不安をいやが上にも高ぶらして居る。然し今に至るも多數組合員の内には合同反對論を高唱し早

努力した方が、村として組合として、得作ではあるまいか。

一般組合員に一言提するに共に、組合役員諸氏に一考を煩す次第である。

一月十日入營者

歩兵第五十聯隊第六中隊 窪 田 嘉一  
全 第十一中隊 塚 平 厚留  
戰車第二聯隊第二中隊 牧 島 勇  
騎兵第十八聯隊第一中隊 下 平 三郎

野砲兵第二十聯隊第五中隊 小林 直之  
飛行兵第七聯隊材料廠整備隊 木下 國二

### 躍進日本

昭和十年度貿易概観  
これを昭和九年に此すれば

大藏省昭和十年貿易貿易額發表によれば、輸出超過二千二百余萬圓にて、十七年振りの好調。

輸出 二四億四七五八萬圓  
輸入 二四億二四七一萬圓  
合計 四八億七二二九萬圓  
差引出超 二二八七萬圓

一割二分六厘の増加を示し躍進日本を輸出超過貿易によつて物語つて居る。

### お贈答用に... 是非若木屋の菓子を 若木屋菓子店

電話 十四番

醋寒の折から...  
御留意遊ばす様祈り上げます

は新生堂文具店へ

### 開店披露大賣出し

特 製

さらやき 金つば  
江戸風二色さくら餅  
アルプス饅頭  
上製生菓子各種  
慶事御事引菓子各種

時又港 翁月菓子舗  
沖 田

### 春向流行品各種 田中屋物店へ

是非ミシン加工品はモダンで上品な一

美味ミシンの焼鳥  
支那そば 井類各種

時又港 クロバ 食堂  
電話 三九番

### 入學兒童に就いて

竜 丘 村 役 場

昭和十一年度入學兒童は左記出生の者である。保護者より一月中に就學届出をなすやう

自昭和四年四月二日  
至昭和五年四月一日

病氣其他正常の理由により就學免除及猶予を出願せんとする者は醫師診斷書を添へて本月中に村役場へ出願の事

### 征途

日記帳の端より

M S 生

日頃の熱望は茲に達せられて男子國難に殉ず、武人としてこれ程名譽な事が亦あらうか！我等の勇躍や如何ばかりなん。されどこの喜びに伴て又暗涙のヒソカに袖をぬらす事が無くて居られたであらうか？『武人涙なきにあらずかれき別離の間に、がさかや』

無論今更戀々の情に引かれを想ひ親を懐ふのではなかつたけれど、その決心があれはある程之れが祖國の今生の見納めかと思へば鬼の目に涙の例へ、紅涙袖を潤さずと眼底確かに涙の出し出する見のがす事が出来なかつた男子の紅涙、これ程頼もしく又力強く感ずるものが現世に二つと數え得られるであらうか。

昭和八年十二月十一日！思へば去年船出して御國が見へなくなつた時、互に口吟む戦女の唄。高く低く揺れるは着くのか上海か。或は吳松かそれともウラジヤストツカきこに向つて走つて居るのか遂に護衛艦のあたりが見ゆる

### 時間尊重

下 平 豊

こゝに昭和十一年の新春を迎へて一年の計は元日にあり、又一日の計は朝にありと云ふが如く、我々青年はこの一月に今年こそは腹をきめてやらなくてはならない。

即ち十一年度は前年の延長であつて云ふまでもなく非常時と云つてゐる所の非常時の持越しであつて、十一年の春に云へば愈々國は多事多成つて来た譯である。

この非常時と云ふ語は稍もするに耳にタコでもあつてゐる故か、一寸色々の話を聞いてもそれがあたりまえのやうに見受けられて来た。

### 漢詩吟誦會

廿三日夜小學校記念館に於て諏訪興國吟誦會幹事中山先生を招聘して青年學校男女青年會合同主催の下に開催し、主催以外の好吟家多勢出席盛會裡に閉會す。

我々青年はこの内外多事の折にいかに進むべきか色々進むべき道はあるであらうが、先ず一番近い所から改善進まなくてはならない。

### たわごと

下 平 生

村の新聞が生れて六歳の新年を迎えて、よき村の指針としての使命遂行の下に完全なる役割を果しつゝある事を、又其の間幾多の諸氏の勞仕を深謝する。

發刊當時を回顧すれば、非常な多難なものであつた。然し時報が價值的にその存在を認識され、その使命遂行には青年會内に担任部間の必要ならぬ、編輯部が誕生して第八號を發刊するや、新聞紙法取締

又新年と共にこの時間と云ふ事に氣をつけられて、今後の總ての會に出席する時には定當つて。



### 新しい望み

一 女生

美しい空、新しい春、あらゆる不幸禍は皆雲片れのやうに吹き飛ばれて、青々底深く澄みきつた空、この年こそは、榮へある年を限りなき希望を抱いて勇ましく生きて行かう。新春の美しさ！

福壽草

元且の朝日さやけき障子腰福壽草の一つ咲きたり

風邪をひきて力なく鏡に向ひせきすれば さやけき鏡の雲雪荒れて小さき家の灯遠き夜

### 昭和十一年役員事務分擔

青年會	中島今朝男	委員長	熊谷茂	副委員長	熊谷茂	會計	大前春實	記録	下平貢	教育部	下平貢
體育部	林保	圖書部	下井田茂利	編輯部	後藤兼義	支會長	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂
支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂
支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂
支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂	支會科	熊谷茂

### 朝感◇暮感

熊 谷

真冬の厳しい寒氣を朝毎に身に感じ乍ら思ふ。このやうな寒氣も、健康である時には寒氣も一つの快感である。いかなる赤貧も信念の生活には、これまた大した苦ではないと同様である。

苦難に堪へぬ精神力といふものは實に強い。その強烈な精神力で人を呪へば、必ず成功するに違ひない。

氣樂に生活する人間の氣力の弱いのが當然である。人間はきびしさの中に生きる事だ。その意味で今日の一部の人間

### 時報原稿募集

村民各位へお願い。村の機關紙として亦丘の新聞としてのこの時報は活かすも生かすも、皆様の御支援に依りて左右されますので是非御投稿下さい。

◆論說 ◆時事 ◆文藝  
◆農産 ◆家庭 ◆其他  
毎月十日原稿切  
屈先は左記へ

村民各位へお願い。村の機關紙として亦丘の新聞としてのこの時報は活かすも生かすも、皆様の御支援に依りて左右されますので是非御投稿下さい。

村民各位へお願い。村の機關紙として亦丘の新聞としてのこの時報は活かすも生かすも、皆様の御支援に依りて左右されますので是非御投稿下さい。

### 新春の

健康で生きる爲一層強く生きてゆく。眞冬は眞冬らしく厳しく寒くあれ。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。健康である間いかなる寒氣も一つの快感として、肌を感じる。

竜 丘 圖 書 館